

基礎事項	チェック項目	チェック内容	学生記入欄(自己判定し、該当欄に○)		
			A	B	C
反応器設計の基礎式	量論関係 反応器の設計方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・限定反応成分について理解している。 ・回分反応器における反応率の定義を理解している。 ・流通反応器における反応率について理解できる。 ・モル分率を理解し、反応工学的に反応率を用いて表現できる。 ・定容系と非定容系について理解し、適切に区別することができる。 ・濃度と分圧の関係を理解し、表現することができる。 ・定容系における成分濃度を反応率を用いて表現できる。 ・非定容系における成分濃度を反応率を用いて表現できる。 ・相変化を伴う反応系の量論関係を説明できる。 ・物質収支式の基本が理解できている。 ・回分反応器の設計方程式が誘導でき、自在に適用することができる。 ・連続槽型反応器の設計方程式が誘導でき、自在に適用することができる。 ・管型反応器の設計方程式が誘導でき、自在に適用することができる。 ・回分反応器、連続槽型反応器、管型反応器の性能比較を説明できる。 ・基本的な量論式における反応速度式の積分形を自在に適用することができる。 ・空間時間、空間速度について説明することができる。 ・平均滞留時間について説明することができる。 			
反応速度解析	回分反応器による 反応速度解析 流通反応器による 反応速度解析	<ul style="list-style-type: none"> ・積分法について理解し、自在に適用することができる。 ・微分法について理解し、自在に理解することができる。 ・全圧追跡法について理解し、自在に理解することができる。 ・半減期法について理解し、自在に理解することができる。 ・積分反応器の考え方と解析法を理解し、自在に適用することができる。 ・微分反応器の考え方と解析法を理解し、自在に適用することができる。 ・連続槽型反応器による速度解析法を理解し、自在に適用することができる。 			
反応装置の設計と操作	回分反応器の設計 連続槽型反応器の設計 管型反応器の設計	<ul style="list-style-type: none"> ・回分反応器の設計法を理解し、自在に適用することができる。 ・基本的な代数的解法を理解し、自在に適用することができる。 ・直列槽型反応器の設計について理解し、自在に適用することができる。 ・基本的な図解法について理解し、自在に適用することができる。 ・管型反応器の設計法を理解し、自在に適用することができる。 			